

平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名	秘書事務事業			事業コード	1487
担当課等	所属名	市長公室 秘書課	担当係名		
	課長名	市長公室 秘書課	担当者名	市長公室 秘書課	電話番号 2404

1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	信頼される質の高い行政	コード 8	施策	計画的で効率的な行政運営の推進	コード 2
	基本事業	計画行政の推進	コード 1	関連予算 費目名	一般会計 2款 1項 1目 秘書事務(002-01)	
	特記事項					
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 <input checked="" type="radio"/> 単年度繰返 <input type="radio"/> 期間限定複数年度 ⇒ (開始年度 S20年度～)					
事務事業の概要	市長及び副市長の秘書事務を行う					
根拠法令等						
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)						
<p>明治22年の市政施行以来、市長の秘書業務は行われていたものと推察される。現在の体制は昭和の秘書室設置による。</p>						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか						
<p>交際費の使途について見直しが必要ではないかといった意見がある。他、不当要求行為対策を含め、危機管理体制の強化が必要である。</p>						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどう変化したか。今後の見通しはどうか						
<p>交際費の使途について、より透明性の高い運用が求められている。</p>						

2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	①市長及び副市長 ②市民、市政関連団体 ③市内外の担当部課	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 市長、副市長	単位	人
				B. 盛岡市民、団体数	単位	人
				C. 盛岡広域圏住民数	単位	人
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	22年度実績(22年度に行った主な活動) ①市長、副市長の庶務的事務の遂行 ②市民、市政関連団体等との連絡調整等(行事等出席、面会予約等) ③担当部課との連絡調整(市長副市長の指示によるもの、行事の代理出席や祝辞の依頼等) ④市長交際費の支出状況の公開 ⑤市長日程のホームページでの公開 23年度計画(23年度に計画している主な活動) ①市長、副市長の庶務的事務の遂行 ②市民、市政関連団体等との連絡調整等(行事等出席、面会予約等) ③担当部課との連絡調整(市長副市長の指示によるもの、行事の代理出席や祝辞の依頼等) ④市長交際費の支出状況の公開 ⑤市長日程のホームページでの公開	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 会議・行事・催事等の調整した件数	単位	件
				B. 交際費支出状況の公開件数	単位	件
				C.	単位	
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	①市長、副市長の執務が円滑に行われる。 ②市民や市政関連団体と市長間の意思疎通および庁内の連絡調整を迅速化、円滑化。 ③市民をはじめ盛岡広域圏住民の盛岡市政への理解と信頼の確保。	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 会議・行事・催事等の市長出席件数 【指標の性格:○上げる ○下げる ●維持する】	単位	件
				B. 会議・行事・催事等の副市長出席件数 【指標の性格:○上げる ○下げる ●維持する】	単位	件
				C. 市民等から寄せられる行政相談件数 【指標の性格:○上げる ●下げる ○維持する】	単位	件
⑦結果 (上位基本事業の意図:上位の基本事業にどのよう貢献するか)	計画的に行政事務を進める	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	総合計画実施計画の達成率(事業費ベース)(単位:%)		

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	市長, 副市長	人	3	3	3	3	3	3	年度
対象 指標B	盛岡市民, 団体数	人	297592	297267	297267	298148	298148	298148	年度
対象 指標C	盛岡広域圏住民数	人	-	-	-	-	-	-	年度
活動 指標A	会議・行事・催事等の調整した件数	件	4877	4040	4040	5428	5428	5428	年度
活動 指標B	交際費支出状況の公開件数	件	364	365	365	358	358	358	年度
活動 指標C									年度
成果 指標A	会議・行事・催事等の市長出席件数	件	3077	2588	2588	2665	2665	2665	年度
成果 指標B	会議・行事・催事等の副市長出席件数	件	2617	2246	2246	1854	1854	1854	年度
成果 指標C	市民等から寄せられる行政相談件数	件	-	-	-	-	-	-	年度

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	*****
事業費	A	千円	10,168	10,151	10,413	9,392	10,006	10,006	*****
財源 内訳	④国	千円							*****
	⑤県	千円							*****
	⑥地方債	千円							*****
	⑦一般財源	千円	10,168	10,101	10,363	9,282	9,956	9,956	*****
	⑧その他	千円		50	50	110	50	50	*****
	合 計 (④~⑧) (=A)	千円	10,168	10,151	10,413	9,392	10,006	10,006	*****
	延べ業務時間数	時間	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000	*****
	職員人件費 (B) (臨時職員賃金は, 事務費に含む)	千円	32,000	32,000	32,000	32,000	32,000	32,000	*****
	トータルコスト (A) + (B)	千円	42,168	42,151	42,413	41,392	42,006	42,006	*****



3. 事務事業の評価(See)

有効性評価	①成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 向上余地がある <input type="radio"/> 向上余地がない	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
その内容:秘書課の職員が各々の業務に精通することにより、成果向上の余地は生み出せる			
効率性評価	②事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を節減できる余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 削減余地がある <input type="radio"/> 削減できない	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
その内容:交際費の支出においては削減検討の余地があると思われる			
	③人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある <input checked="" type="radio"/> 削減できない	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
理由:同規模自治体の中では最小限の人員で業務を行っている			

4. 事務事業の改革案(Plan)

改革/改善方向	①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など) ※複数ある場合は、代替案その1, 代替案その2とすること ①財政課が所管する「議会事務局との連絡調整業務」と秘書課が所管する「当局側の答弁検討調整」の効率化 ②交際費基準の再度見直し ③市長、副市長の執務環境の整備(危機管理体制の強化を含む) ④改革、改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか？ それをどう克服していきますか？ (関連部門や全庁的な調整の必要性, トップへの要望も含む) ①類似する業務を所管する関係各課との協議、調整に時間を要することが想定されるため、情報交換を積極的に行いそれぞれの業務の効率化を図る。 ②交際費支出基準執行運用について多くの照会が想定されるため、担当部課の担当者との連携を強め情報を共有しながら適切な運用に努める。 ③各案件について関係課との情報共有に時間を要することが想定されるため、日ごろからの連携体制を整える。
---------	--

5. 課長意見

一次評価	(1)評価結果 ① 有効性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり : ② ● 妥当 ○ 見直し余地あり :効率性		(2)全体総括(振り返り, 反省点) 課の質的な分野での向上努力(改善)により、効率化が図られている。また、交際費の支出について抑制を図るよう努めた。今後も、社会通念との整合を図り、適正な額、範囲を具現する必要がある。
今後の方向性と改革改善案	(3)今後の事務の方向性(改革改善案) <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携
方向付けの理由と改革改善の内容 交際費基準に基づく、実践と職務遂行能力の向上。			